

「地域密着型金融推進計画(17～18年度)」の進捗状況

当金庫の「地域密着型金融推進計画」平成17年度の取り組みにつきましては、平成15～16年度の2年間で行った「リレーションシップバンキングの機能強化計画」を踏襲・継続しつつ、更に強力で推進して行かねばならないとの認識の下に「地域密着型金融の機能強化に関するアクションプログラム」を役職員全員が一丸となり1年間取り組んでまいりました。

本計画の進捗状況につきましては、各部単位で推進して行く項目や各部共管により推進して行く項目等があり、それぞれの進捗状況についてバラツキがありますが個別項目毎に確実に進捗しつつあります。平成17年度における取組状況等につきましては、「地域密着型金融推進計画」の【大項目毎の進捗状況と、進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題】を参照して頂きたいと思いますが、主な取組実績につきましては以下のとおりでございます。

1. 企業再生・中小企業金融の円滑化への取組について

従来より実施しております「目利き力の向上を図る」ための外部研修に職員を積極的に派遣し、研修終了後においては庫内研修を実施するなどして、企業再生等の係る人材の育成に努めております。

また新たな取り組みといたしまして、事業再生に向けシグマバンクグループ内で組成されたシンジケートローンに参加しエグジティブファイナンスに協力いたしました。

創業支援先への融資取り組みにつきましても、創業・起業先に対して創業計画書の妥当性について庫内で検討し、新規融資取り扱いを実施いたしました。

また、平成18年4月より地域環境改善に向けたエコ関連融資商品を発売いたします。

(1) 平成17年度新規融資商品

「とうえい商店街活性化ローン」平成17年下期 発売開始

(地元商店街の活性化資金として既存商店街はもちろん、新規出店等の起業家のお客様を側面からサポートさせていただきます。)

「東栄ビジネスローン」

(事業者向け無担保商品)

(2) 平成18年度4月より新たに取扱う融資商品

企業向け商品 「エコビジネスローン」

個人向け商品 「エコ省エネローン」

(二酸化炭素排出や騒音等を軽減し、「住みよい地域・街創り」を金融面からサポートいたします。)

上記のとおり、地域の環境問題に対しても「住みよい地域・街創り」・「中小企業への再生支援」に向け更なる金融の円滑化を図ってまいります。

2. 経営力の強化への取組について

- (1) 平成17年4月より施行された個人情報保護法への対応も含め、秘文の導入・ユーザIDを個別に発行しパスワードによる認証を行いセキュリティー強化を実施しました。
- (2) 収益管理態勢の強化に向け、信用格付システムの導入に向け具体的な検討を開始しました。

3. 地域の利用者の利便性向上について

- (1) 産学連携につつまして、平成17年度上期に地元唯一の大学である東京聖栄大学が短期大学から4年制大学(17年4月開校)に変更になったことを契機に、地域への貢献・活性化を目的とした業務連携に向けての意見交換などを実施し、金庫として連携に向けた組織化立ち上げに対する態勢整備を図りました。
- (2) ガバナンスの強化
従来から営業店窓口に設置してあります「ご要望・ご意見投入箱」に加え、旅行や盆踊りなど各種行事への参加者に対して、アンケート等を実施し、金庫経営に反映させるような態勢を整備しました。

4. 基本業績目標について

当金庫の営業地区(都内10区、千葉県5市、埼玉県2市)
東京都 葛飾区、江戸川区、江東区、墨田区、足立区、千代田区、
中央区、港区、台東区、荒川区
千葉県 市川市、船橋市、鎌ヶ谷市、浦安市、松戸市
埼玉県 三郷市、八潮市
上記のとおり当金庫の営業地区は一都二県に亘っております。

平成17年度(平成18年3月末)の基本業績は、出資会員数は11,641名となり「対前年度比488名増加(増加率4.4%)」堅調に推移いたしました。預貸率につきましては預金の増加額が融資増加額を大幅に上回ったことにより前年度比0.66%減少し49.70%に止まりました。

また、地域内の預貸金シェアは17年3月末日に対し、地域内の預金シェアは目標を達成いたしました。地域内の貸出金シェアにつきましては大口取引先企業の本社登記異動等の要因等により0.18%の未達となりましたが、平成17年下期より取扱いを開始いたしました商店街活性化ローン・東栄ビジネスローンにつきましては、順調に推移いたしており、今期も地元積極的にPR活動を行い、地域貢献に努めてまいります。

また平成18年度に発売いたします「エコ関連融資商品」と「商店街活性化ローン」等の商品を目玉として引き続き地域内融資シェアの向上に努めてまいります。

【基本業績】

	17年3月 末日	18年3月 末日	18年3月 目標	年間 増減	18年度目標
出資会員数	11,153人	11,641人	12,000人	488人	12,000人
全体の預貸率	50.36%	49.69%	52.61%	0.67%	52.61%
総預金に占める地 域内の預金構成比	92.70%	93.21%	93.20%	0.51%	93.50%
総貸金に占める地 域内の貸金構成比	94.10%	93.92%	95.00%	0.18%	95.00%
自己資本比率	8.37%	8.66%	9.0%台	+0.29%	9.0%台を目指します

上記の基本業績目標は、将来の業績を保証するものではなく、経営を取巻く環境の変化等による不確実性を内包しております。

ここで示す地域内とは、当金庫店舗所在地〔葛飾区、江戸川区、江東区、浦安市（一部地域を除く）〕を表します。

17年3月末日の自己資本比率については、見直した結果、算定方法に誤りがございましたので、訂正させていただきます。

平成18年6月26日

東栄信用金庫

理事長 小川 恒明